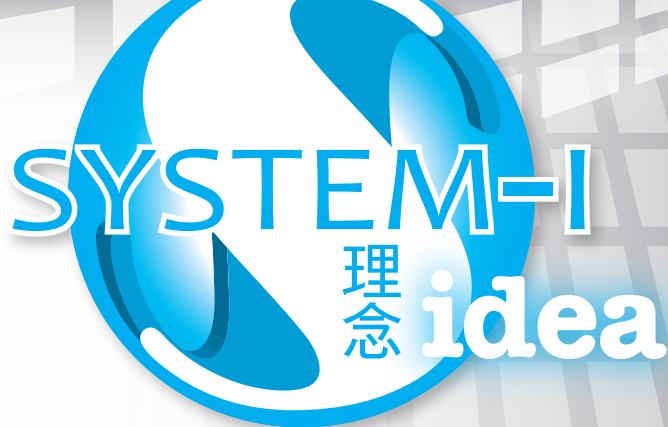


HANDY CAD MARK II

ハンディーキャドマークツー



設計者の新たなる発想をサポート

2次元設計・製図を「もっと簡単に、もっと効率よくと、設計者の要求は日々進化しています。それはビギナーからプロユースまで様々な分野に共通して言えることです。

「HandyCAD Mark II」は、長年培(つちか)われたノウハウと洗練されたユーザビリティで設計者を日々のストレスから解放し、設計者の新たなる発想をサポートしていきます。

- ▶ 業界最高水準を誇るダイレクトコンバータを搭載
- ▶ 複数の図面もストレス無く安心操作
- ▶ 直感的なマウスオペレーションで操作性がアップ
- ▶ 統一されたコマンドプロパティで可読性がアップ
- ▶ Office アプリケーションとのシームレスな連携を実現
- ▶ テクニカルな分野もアドオン機構でソリューション解決

設計者の「もっと!」を支援する専門ソフトウェアとして。

テクノロジーの進化や顧客のニーズの変化…。

企業を取り巻く環境は日々、そのスピードを加速させ変化を重ねながら、私たち製造業にも変革を求めています。このような流れの中で、HandyCAD Mark IIも設計者のニーズに応えるべく、長年培われたノウハウと新技術の融合で、よりいっそう支持されるソフトとして成長し続けます。お客様の競争力強化、生産工程の改善、高品質化、コスト削減、納期短縮を徹底サポート。より良い設計環境のご提供をお約束します。

すべては設計者を第一に考える。

CADの現場から求められる最重要課題。それは設計者が思い描くイメージを、何の躊躇もなく表現できる支援ソフトの存在です。HandyCAD Mark IIは設計、製図を「もっと簡単に、もっと効率よく、そしてもっと自由に」といった設計者のニーズに応え、負担の軽減に一役買っています。

多彩なアプリケーションとの組み合わせは自由。 ニーズに合わせたソリューション。

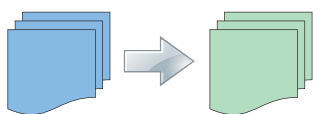
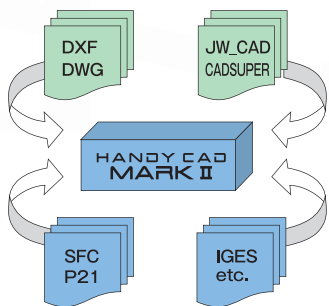
HandyCAD Mark IIと連動するソフトウェアは組み合わせが自由です。現場の視点で開発されたことにより、設計者は必要なソフトウェアだけを導入し、それぞれに合わせたパッケージングを実現します。各ソフトウェアの性能もさることながら、高い拡張性により高品質化と効率性、そして導入コストに対してなど、設計者支援を様々な角度から行います。

それでも「困った」というお客様のために。

設計者のニーズは常に複雑化し、単に高性能化しただけのソフトウェアではなく、「困った時に何をしてくれるのか?」が差別化へとつながります。私どもはそういったお客様の「困った」を喜んで解決するため、丁寧で分かりやすいアドバイス、レスポンス第一のサポート体制をもって常にお客様のことを考えます。お客様の「どうしよう…」が HandyCAD Mark IIを進化させると言っても過言ではありません。

図面資源の有効活用

CADの世界で図面とは、設計者の知識と技術の結集であり貴重な資産でもあります。HandyCAD Mark IIは20種類を超えるダイレクトコンバータを標準搭載していますので、既存の図面資源を有効に活用することができます。特に、業界標準と位置づけられるDXF、DWGフォーマットに関しては、最新のバージョンから粗悪なフォーマットまで、幅広く対応しており、今まで困難とされていたレイアウト空間や、一般的にトラブルが多いとされる寸法線に関する、業界最高水準の変換精度を誇っています。また、建築土木業界で標準化が進められているSXFフォーマットにもいち早く対応しています。他にも、フリーソフトのJW_CAD やアンドール社のCADSUPER などに関しても積極的にサポートしていますので、既存の図面資源が無駄になる心配はありません。



大量の図面を一括して印刷したり、他フォーマットへ変換したりと、バッチの処理が要求される場面においても HandyCAD Mark IIは十分威力を発揮します。

洗練されたマウス操作

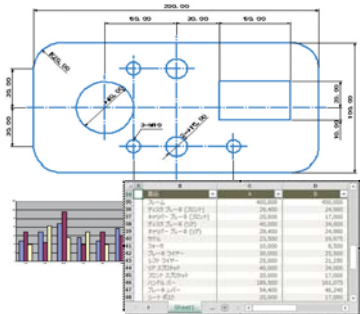
マウス操作において認識したい座標や要素をやさしくナビゲートしてくれる、そんな心配りを体感できるのが HandyCAD Mark IIです。コマンドによっては座標と要素の同時受付が可能なので、従来のCADのような切り替え操作は不要です。

また、認識座標（端点、交点など）別に表示マーカータイプを指定したり、ツールチップの表示 ON/OFF など、きめ細かな設定でさらに使いやすくなります。マウスホイールに関しても、回転はズーム、ドラッグは移動、ダブルクリックは原因と、当たり前と思われる操作を当たり前のように実現しています。

属性バーなどのボタン操作においては、左クリックは次項目、右クリックは前項目、長押しはリスト表示と、省操作で様々な機能を実現しています。また、頻繁に使用するコマンド起動ボタン（ツールバーボタンなど）では、ボタンダウンのアクションだけでコマンド起動できますのでレスポンスの良い操作が体感できます。

Officeアプリケーションとの親和性

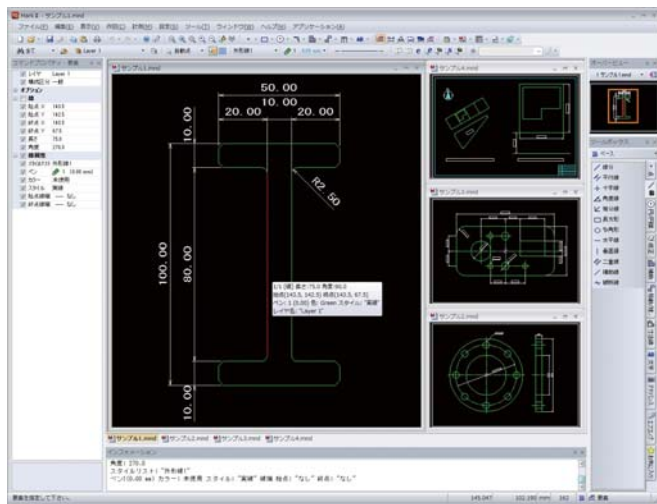
Officeアプリケーションと連動させる事により、ワンランク上のドキュメント作成が可能です。図面にExcelやWordなどのオブジェクトを貼り付けて編集する事も当然可能ですが、貼り付けたオブジェクトをCAD図形に変換する事ができますので、CADとしての編集や他フォーマットへ変換する場面などで威力を発揮します。逆に、ExcelやWordなどに HandyCAD Mark IIの図面を貼り付け、ダイレクトに編集する事もできます。



PC資源への配慮

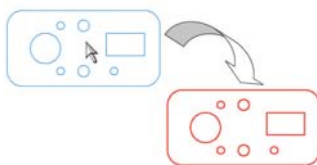
設計者の思考は同時に複数の図面を処理できますし、当然ながらそれに耐え得るCADでなくてはなりません。HandyCAD Mark IIはPCの資源が許す限り複数の図面を同時に編集することが可能となっており、3次元データなどのように大量の微小線分で構成された図面であってもストレス無く操作できます。

また、メモリの消費量に関しても、有限資源である実メモリの使用を極力抑えるテクノロジーを使用していますので、通常業務においてメモリ不足に陥る心配はありません。万が一、作業途中でトラブルが発生（OSのハングアップなど）したとしても、図面の保護機能が備わっていますので、復旧作業は容易に行えます。



フレキシブルなコマンド操作

コマンドを正常に動作させるためには、適切なパラメータを指示しなければなりません。ダイアログのようにコマンド毎に異なるユーザーインターフェースでは設計者の思考を妨げてしまいかねません。HandyCAD Mark IIはコマンドプロパティと称する共通インターフェースの採用により、この問題を解決しています。コマンドに必要なパラメータは一覧で表示され、各パラメータは随時入力を受け付けていますので、フレキシブルなオペレーションが可能となっています。また、各パラメータには参照ボタンが付いていますので、必要な時にはいつでもCAD要素から情報を参照できます。



コマンドプロパティ - 長方形

X

Y

傾斜角

角丸め

オプション

入力タイプ サイズ

マウス操作 対角指定

距離補正 なし

コーナー形状 角丸め

構成要素 線

配置オプション

ループ認識オペレーションにおいても、閉じた領域をワンクリックで自動認識する機能や、矩形内の複数領域を一括認識する機能など、今までに無い軽快なオペレーションを実現しています。

拡張性

HandyCAD Mark IIはアドオン形式で機能を追加できますので、建築・土木分野から設計・製造分野まで幅広いソリューション展開が可能となっています。また、ユーザーカスタマイズ用として汎用性のあるVBスクリプトを用意していますので、小規模なカスタマイズなどに非常に適しています。



●動作環境

OS	日本語 Windows 11 / 10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista / XP (各32bit / 64bitに対応)	
CPU	Intel Core 1GHz 以上、または互換プロセッサ	
メモリ	512MB 以上	
ディスプレイ	1024×768 以上	1280 × 1024 以上を推奨
ハードディスク	500MB 以上の空き容量	
入力装置	マウス / キーボード	
出力装置	プリンタ : Windows 付属、または各メーカー提供のドライバ プロッタ : 各メーカー提供の HP-GL 準拠のドライバ または SYSTEM-I 提供の HP-GL ドライバ	※Windows7 以降は SYSTEM-I 提供の ドライバは使用不可
ライセンス	ハードライセンスのみ	

●基本仕様

図形要素数	要素数無制限 (コンピュータ環境に依存)	
基本図形	点、線分、ポリライン、円・円弧、楕円・楕円弧、文字、曲線、ハッチング、ピクチャー	
複合図形	寸法線、集合、ユニオン、シンボル、リンク図面	
座標認識	自由点、グリッド点、ラスタ点、線上点、中心点、極点、中点、端点、交点、図枠角、参照点	
レイヤ	4096 層 (書込み・参照・表示・非表示)、名称設定、縮尺設定可能 表示フィルタによるグループ管理、色 / 線種 / 線幅設定可能	
ペン (線幅)	16 本	
色	256 種類	
線種	実線、破線、一点鎖線、二点鎖線、三点鎖線、点線、補助線 ※任意に線種作成可能	
線端	矢印、上矢印、下矢印、丸印、抜き丸、黒丸、三角、黒三角、スラッシュ、平行、インテグラル、抜き三角、四角、抜き四角、黒四角 ※任意に線端作成可能	
UNDO/REDO	図面単位で回数無制限 (コンピュータ環境に依存)	
データ保護	指定時間間隔でリカバリーファイルとして保存、排他制御	
コンバータ	AutoCAD(DWG・DXF) / SXF(P21・SFC・P2Z・SFZ) / JW_CAD(JWC・JWW・JWK・JWS) / IGES(2D) CADSUPER(SX・JX・FX) / EasyDraw(ED) / HandyCAD(HND) / HPGL / PDF	
カスタマイズ	Microsoft Visual C++ / Microsoft VB Script / OLE Automation / コマンドマクロ	

※記載の社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

お申し込み・お問い合わせは



CAD/CAM Development Company

www.system-i.co.jp/

システムアイ

〒532-0011 大阪市淀川区西中島 5-3-8-5F
TEL:06-6390-8808 / FAX:06-6390-8809